



株式会社田中化学研究所

2016年3月期 第2四半期決算説明会
2015年11月13日

目次

1. 2016年3月期 第2四半期決算ハイライト
2. 2016年3月期 第2四半期決算のトピックス
3. 製品別販売数量推移
4. 営業外収支および特別損益
5. キャッシュフロー計算書
6. 比較貸借対照表
7. 2016年3月期予想
8. 製品別販売数量推移予想
9. 2016年3月期業績予想の補足説明
10. 主原料国際価格推移

第2四半期決算ハイライト

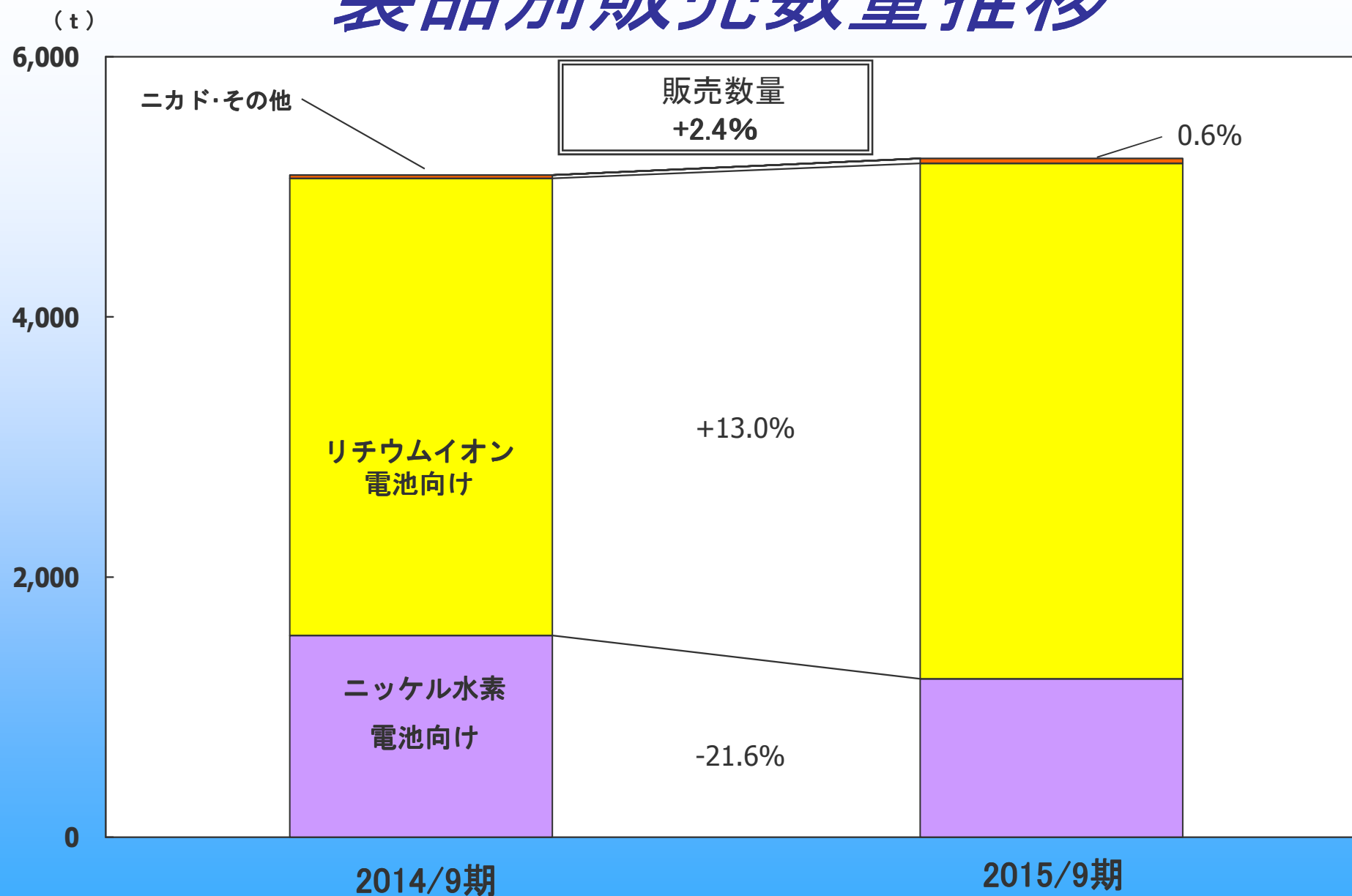
(百万円)

	2015/9期	増 減	2014/9期
売上高	7,326	+524 (+7.7%)	6,802
営業利益	-80	+117	-198
経常利益	-146	+179	-326
四半期純利益	12	+345	-333
EPS(円)	0.81	+24.78	-23.97
設備投資	246	+71 (+40.6%)	175
減価償却費	522	-168 (-24.4%)	691
期末従業員数	180名	+2	178名

2016年3月期 第2四半期のトピックス

1. 売上高は前年同期比7.7%増加の7,326百万円。販売数量は前年同期比2.4%の増加。
2. ニッケル水素電池向けでは、民生用途は堅調に推移したものの、環境対応車用途の生産ラインメンテナンスの影響が大きく、全体で前年同期比21.6%の減少。
3. リチウムイオン電池向けでは、民生用途で大口顧客での生産調整の影響により大幅に減少したものの、環境対応車用途では新規顧客への販売促進及び既存顧客への販売本格化により大幅に増加、結果として全体では前年同期比13.0%の増加。
4. 8月後半からの急激かつ大幅な原料相場下落の影響により、たな卸資産の評価損115百万円を計上。
5. 結果として、第2四半期は営業損失80百万円、経常損失146百万円を計上。有価証券売却による特別利益を加え、四半期純利益は12百万円を計上。
6. 当四半期期末においても、シンジケートローン契約の財務制限条項に抵触したが、参加各行のご理解を得て、期限の利益喪失の請求権を放棄いただいた。

製品別販売数量推移



営業外収支および特別損益

(百万円)

	2015/9期	増 減	2014/9期
営業外収支	-66	+61	-127
金融収支	-51	+0	-52
その他	-14	+60	-75
経常利益	-146	+179	-326
特別損益	166	+169	-3
税引前四半期純利益	19	+349	-329
法人税等	-7	-4	-3
四半期純利益	12	+345	-333

キャッシュフロー計算書

(百万円)

摘 要	2015/9期
I.営業活動によるキャッシュフロー	
税引前当期純利益	+19
減価償却費	+522
運転資本増加による資金の減少	-144
その他	-158
計 (A)	+238
II.投資活動によるキャッシュフロー	
有形固定資産の取得	-756
補助金収入	+3
投資有価証券の売却による収入	+202
その他	-0
計 (B)	-551
フリーキャッシュフロー(A)+(B)	-313
III.財務活動によるキャッシュフロー	
長期借入金の返済による支出	-216
セール・アンド・リースバックによる収入	+668
その他	-62
計	+388
現預金等換算差額	+0
現預金等増減額	+75
期末現預金残高	3,422

比較貸借対照表

(百万円)

	15/3期	15/9期	増 減		15/3期	15/9期	増 減
流動資産	(8,983)	(8,529)	(-454)	流動負債	(12,331)	(11,434)	(-896)
現預金	3,347	3,423	+75	仕入債務	3,074	3,113	+38
売上債権	2,084	2,169	+85	借入金	8,001	7,784	-216
棚卸資産	2,690	2,787	+97	その他	1,255	537	-718
その他	861	148	-712	固定負債	(691)	(712)	(+20)
固定資産	(5,649)	(5,134)	(-515)	負債 計	13,022	12,146	-876
有形固定資産	5,308	5,001	-307	純資産			
無形固定資産	18	17	-0	資本金	2,492	2,492	—
投資等	322	115	-207	資本剰余金	1,646	—	-1,646
				利益剰余金	-2,643	-985	+1,658
				自己株式	-2	-2	—
				評価・換算差額等	117	12	-105
				(自己資本比率)	(11.0%)	(11.1%)	—
				純資産 計	1,610	1,517	-93
合 計	14,633	13,664	-969	合 計	14,633	13,664	-969

2016年3月期通期予想

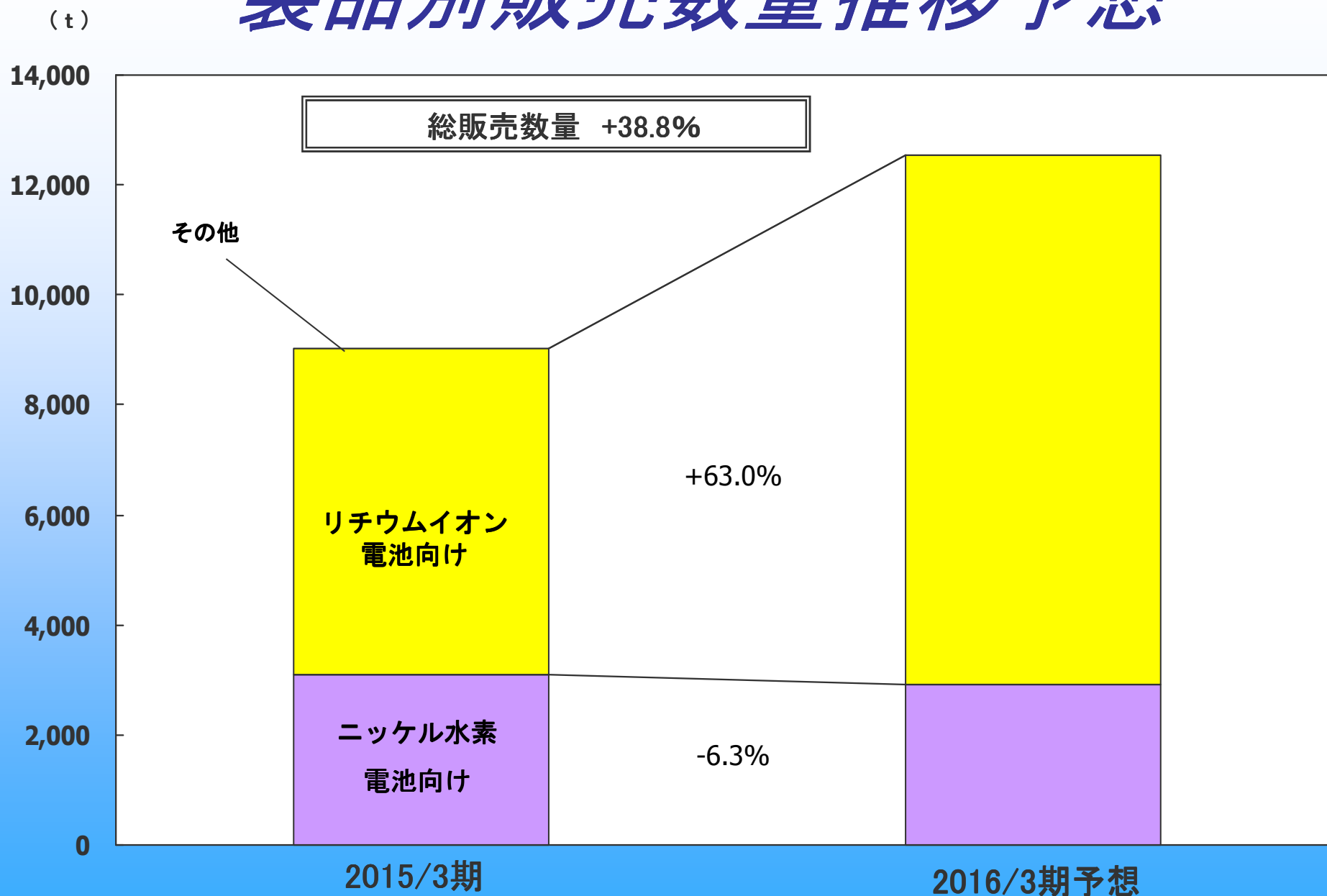
(百万円)

	2016/3期予想	前年比	2015/3期実績
売上高	17,500	+5,116 (+41.3%)	12,384
営業利益	350	+743	▲393
経常利益	150	+810	▲660
当期純利益	920	+3,583	▲2,663
設備投資	500	▲570 (▲53.3%)	1,070
減価償却費	950	▲451 (▲32.2%)	1,401

(5月15日公表ベース)

※業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。

製品別販売数量推移予想



2016年3月期業績予想の補足説明

1. 当期の業績予想には、下期におけるニッケル・コバルト等の主原料メタル価格の変動要因は織り込んでいません。
2. 数量面では前年比38.8%の増加を計画しております。
特にリチウムイオン電池向け材料では、環境対応車向け事業の拡大と民生向け新規顧客獲得や新規用途への展開を更に進めることによる大幅な増加を見込んでおり、リチウムイオン電池向け材料トータルで前年比63.0%の増加を計画しています。
3. 設備投資につきましては、500百万円を計画しております。
また、減価償却費は950百万円となる見込みです。

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。

主原料国際価格推移

